

# フィンランド語文法：初級⑧

## A不定詞ととる動詞

### 動詞の逆kpt交替・補語

「フィンランド語との対話—吉田欣吾」

<https://yoshidakingo.com/>



# フィンランド語文法：初級⑧

## A不定詞ととる動詞

### 動詞の逆kpt交替・補語

『フィンランド語との対話—吉田欣吾』

<https://yoshidakingo.com/>



# A不定詞をとる動詞

- “Oma Suomi 1”の155ページ
- 「夏期講座：資料」の32課の最初
- alkaa 「始める」：  
Sinä **alat** **unohtaa**. あなたは忘れ始める。
- haluta 「したい」：  
Sinä **haluat** **laulaa**. あなたは歌いたい。
- osata 「（能力があって）できる」：  
Sinä **osaat** **uida**. あなたは泳げる。
- voida 「（状況が許すので）できる」：  
Sinä **voit** **lähteä** ulos. あなたは外出できる。
- saada 「してもよい」：  
Sinä **saat** **mennä**. あなたは行ってよい。



# タイプ3・4・6の動詞の逆kpt交替

- “Oma Suomi 1”の157~158ページ
- 「夏期講座：資料」の22課
- 「フィンランド語入門」第10回授業（教材は第21課）で「kpt交替」を学習した。タイプ1の動詞ではkpt交替が起こった。

ottaa 「とる」

> minä otan 「私はとる」

lähteä 「出かける」

> minä lähdän 「私は出かける」

lentää 「飛ぶ」

> minä lennän 「私は飛ぶ」



# kpt交替のパターン

	A	B	C	D	E
k	kk ⇒ k	k ⇒ 消える	nk ⇒ ng		
p	pp ⇒ p	p ⇒ v	mp ⇒ mm		
t	tt ⇒ t	t ⇒ d	nt ⇒ nn	lt ⇒ ll	rt ⇒ rr

- Aグループ  
2つの子音が1つに。
- Bグループ  
kは消え、pはvに、  
tはdに変化。
- Cグループ  
nkはngに、mpは  
mmに、ntはnnに  
変化。
- D、Eグループ  
ltはllに、rtはrrに  
変化。

左側の形を強形、右側の形を弱形と呼ぶ。



# kpt交替の起こる動詞の変化例

不定詞		odottaa「待つ」	löytää「見つける」	antaa「与える」
語幹		odotta:odota-	löytä:löydä-	anta:anna-
minä	n	odotan	löydän	annan
sinä	t	odotat	löydät	annat
hän	母音	odottaa	löytää	antaa
me	mme	odotamme	löydämme	annamme
te	tte	odotatte	löydätte	annatte
he	vAt	odottavat	löytävät	antavat



# タイプ<sub>3</sub>の動詞の復習

## ●タイプ<sub>3</sub>の動詞

①-lla / -llä, -nna / -nnä, -rra / -rrä, -sta / -stä で終わる動詞

②語幹は最後の2文字を取って-eをつける。

tulla 「来る」	>	<b>tule-</b>
mennä 「行く」	>	<b>mene-</b>
purra 「噛む」	>	<b>pure-</b>
pestä 「洗う」	>	<b>pese-</b>



# タイプ4・6の動詞の復習

## ●タイプ4の動詞

①-ta/-täで終わる動詞

②語幹は最後から2文字目の-t-を取る。

haluta 「望む」 > **halua-**

## ●タイプ6の動詞

①-eta/-etäで終わる動詞

②語幹は-eta/-etäを-ene-に変える。

vanheta 「古くなる」 > **vanhene-**





# 逆kpt交替のパターン

	A	B	C	D	E
k	kk ← k	k ← 消える	nk ← ng		
p	pp ← p	p ← v	mp ← mm		
t	tt ← t	t ← d	nt ← nn	lt ← ll	rt ← rr

- Aグループ  
2つの子音が1つに。
- Bグループ  
kは消え、pはvに、  
tはdに変化。
- Cグループ  
nkはngに、mpは  
mmに、ntはnnに  
変化。
- D、Eグループ  
ltはllに、rtはrrに  
変化。

左側の形を強形、右側の形を弱形と呼ぶ。



# Kappale 9

## タイプ3・4・6の動詞の逆kpt交替 (2)

●タイプ3・4・6の動詞では逆のkpt交替が起こる。

③tapella 「けんかする」	> tapele-	> tappele-
ajatella 「考える」	> ajatele-	> ajattele-
④tavata 「会う」	> tavaa-	> tapaa-
tykätä 「好む」	> tykää-	> tykkää-
⑥pidetä 「長くなる」	> pidene-	> pitene-
kyetä 「できる」	> kyene	> kykene-



# 逆kpt交替のパターン

	A	B	C	D	E
k	kk ← k	k ← 消える	nk ← ng		
p	pp ← p	p ← v	mp ← mm		
t	tt ← t	t ← d	nt ← nn	lt ← ll	rt ← rr

- Aグループ  
2つの子音が1つに。
- Bグループ  
kは消え、pはvに、  
tはdに変化。
- Cグループ  
nkはngに、mpは  
mmに、ntはnnに  
変化。
- D、Eグループ  
ltはllに、rtはrrに  
変化。

左側の形を強形、右側の形を弱形と呼ぶ。



# タイプ3・4・6の動詞の逆kpt交替 (3)

●逆kpt交替の起こる語では、すべての人称で強形を使う。

	tapella	tavata	pidetä
語幹	<b>tappele-</b>	<b>tapaa-</b>	<b>pitene-</b>
minä	tappelen	tapaan	pitenen
sinä	tappelet	tapaat	pitenet
hän	tappelee	tapaa	pitenee
me	tappelemme	tapaamme	pitenemme
te	tappelette	tapaatte	pitennette
he	tappelevat	tapaavat	pitenevät



# 補語（1）

- “Oma Suomi 1”の163ページ
- 「夏期講座：資料」の30課
- フィンランド語では名詞を二つに分類する。
  - ① 個体名詞＝決まった形がある＝数えることができる  
（たとえば「人間」「自動車」「店」など）
  - ② 物質名詞＝決まった形がない＝数えることができない  
（たとえば「コーヒー」「お金」「時間」「人生」など）



# 補語 (2)

- 名詞が個体名詞か物質名詞かにより補語の形が変わる。
- 補語とは「～です」の「～」に入る言葉。
- 主語が個体名詞なら、補語は主格  
Hame on punainen. スカート [個体名詞] は赤い [主格] 。
- 主語が物質名詞なら、補語が分格  
Viini on punaista. ワイン [物質名詞] は赤い [分格] 。
- 補語自体が個体名詞なら、それは主格  
Tämä on hame. これはスカート [個体名詞=主格] だ。
- 補語自体が物質名詞なら、それは分格  
Tämä on viiniä. これはワイン [物質名詞=分格] だ。



# 補語 (3)

- 補語ではないが、所有文や存在文の主語にも同じことが当てはまる。
- 所有文や存在文の主語が個体名詞なら、それは主格  
Minulla on **hame**. 私はスカート [個体名詞＝主格] をもっている。  
Huoneessa on **pöytä**. 部屋の中にはテーブル [個体名詞＝主格] がある。
- 所有文や存在文の主語が物質名詞なら、それは分格  
Minulla on **viiniä**. 私はワイン [物質名詞＝分格] をもっている。  
Jääkaapissa on **lihaa**. 冷蔵庫には肉 [物質名詞＝分格] が入っている。

